

地方会議（石川県金沢市）

1. 日時、場所

平成24年5月20日（日） 13時30分～15時30分
石川県地場産業振興センター 新館1階コンベンションホール

2. 参加者

地元の若手・女性 of 中小企業経営者等 110名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	30
資金調達	1
経営指導・経営支援	15
技術力・人材（技能承継等）	1
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	4
若手・青年層の活力発揮	1
女性層の活力発揮	3
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	4
その他	1

（2）主な意見

【資金調達】

- ・小規模事業者は資金力が乏しく、開発費の捻出が難しいので、国の政策として補助金等による支援が欲しい。

【経営指導・経営支援】

- ・中小企業支援策は様々あるが、制度・手続き方法等を知らない企業が多い。
また、国の施策は敷居が高く、制度が複雑で利用しづらい。支援機関に相談できることも知らない企業が多い。もっと周知してほしい。
- ・支援機関の役割分担をすべき。土業、商工会および金融機関等、支援機関が連携し、適切な機関に企業をつなげるべき。
- ・企業が自立できるまで継続的に支援してほしい。
- ・IT化が進む中、企業がIT活用によりどれだけ効果があったか、事例を知りたい。中小企業が見やすい形で情報提供してほしい。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 伝統産業の分野では、職人の高齢化が問題。訓練所で技術を習得しても、卒業後における職場や受入先のあっせんができていないため、現場の戦力につながっていない。技術の継承だけでなく、現場につなげる支援策を検討してほしい。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・ 海外における起業を支援してほしい。資金面や、言語・文化等のフォローをしてくれるアドバイザーの派遣など。
- ・ 海外展開支援だけでなく、国内のものづくりを支援し、国内の雇用や投資を確保する施策が必要。国がリーダーシップをもち、目指す方向を示すべき。
- ・ 海外展開支援では、税金や役所の手続き関係等、細々とした支援もしてほしい。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 次世代を担う若手が独立・開業しようとする際、例えば建設業の関連などでは昭和40年代以前の法律が大変な参入障壁となっている。法改正と、国から県への柔軟な運用に関する通達を要望したい。

【女性層の活力発揮】

- ・ 女性層の役割強化には、女性の発言の場や活動機会の提供、手厚い育児支援プログラム等の充実が不可欠。
- ・ 子育て、家事、介護といった女性の負担をどう軽減するか、対策を練ってほしい。
- ・ 女性をパートタイムで継続雇用できるよう、支援してほしい。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 商店街は、街の文化と歴史の一端を担ってきたという自負を持っている。数字だけにとられるのではなく、数字に表れない部分にも目を向けてほしい。
- ・ 商店街支援の補助制度は、地域住民のためになっているか見極めて支援してほしい。

【その他】

- ・ 若手の建築士が少なくなっている。建築現場ではIT化が進んでいるが、日本の建築技術が衰退しかねない状況にあることを実感している。